

みんなの らいふ

前橋市自立支援協議会広報

みんなのらいふ 第14号

発行日 平成29年5月15日

発行元：前橋市自立支援協議会

お問い合わせ先：

前橋市障害福祉課 前橋市自立支援協議会

広報啓発ワーキンググループ 事務局

電話027-220-5711 Fax027-223-8856

ホームページ [http://www.city.maebashi.gunma.jp/
kurashi/42/125/139/p002057.html](http://www.city.maebashi.gunma.jp/kurashi/42/125/139/p002057.html)

みんなのアーツ(作品紹介)



【大切な仲間】

【作者】小澤 恵 様

前橋高等特別支援学校

題字・作品募集

本誌に掲載する題字や作品（イラスト、挿絵等）を募集しています。あなたの作品で本誌に彩をそえていただけませんか。詳しくは事務局（連絡先は表紙に記載しております）へお気軽に問い合わせください。

次回の作品の応募締切日は6月30日（金）です。

平成28年度 前橋市自立支援協議会の活動報告

前橋市自立支援協議会では、年間を通じて各種会議を開催し、障害福祉における地域課題の解決に向けて活動しています。今回は、平成28年4月から平成29年3月までの活動について、部会活動を中心にご報告します。

1 こども部会

昨年度に引き続き、「移動」に関する課題について意見交換を行い、解決策のひとつとしてファミリーサポート事業との連携が図されました。また、今年度も学齢期のこども達を支えるための「顔の見えるネットワークづくり」を目的に「前橋市療育ネットワーク推進会議研修会」を開催し、学校教諭や放課後児童クラブ職員、障害福祉サービス事業所職員など94名が参加しました。今回は、4つのテーマを設け、参加者が希望のテーマに参加することで、活発な意見交換の場となりました。

2 就労支援部会

障害者雇用に関する情報交換の機会を設けることで障害者雇用の促進を図ることを目的として、10月14日に「第4回企業と福祉の情報交換会」を開催しました。当日は、企業と就労移行支援事業所あわせて17事業所に参加いただき、一般就労に至った成功事例の発表や、障害者雇用に対する不安、体験談、企業が求める人材などについての意見交換を行いました。



3 生活支援部会

障害者団体や民生委員、相談支援事業所、特別支援学校教諭等、幅広いメンバーを部会員として活動しました。本年度は平成28年4月に施行された障害者差別解消法について協議を行うとともに、前年度からの継続として地域共助のモデルケースの支援状況の確認を行いました。

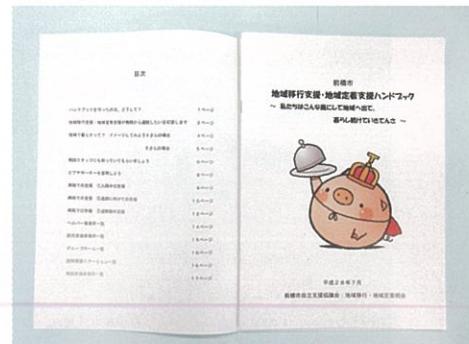
4 広報啓発部会

広報啓発部会では、広報誌「みんなのらいふ」の定期発行を行いました。紙面には障害のある方にも

登場していただき、くらしに役立つ情報や本協議会の情報をみなさまへお届けすることを目指しました。また、「第5回みんなのフェスタ」を1月29日に開催しました。

5 地域移行・地域定着部会

今年度は、長期入院や施設入所から地域生活への移行を目指している障害者やその支援者を支援する目的で昨年度から作成を進めていた「地域移行支援・地域定着支援ハンドブック」を発行し、各関係機関に配布するとともに前橋市のホームページにも掲載しました。また、地域生活を支援する新たなサービスとして平成30年度に創設される「自立生活援助」について、情報収集及び意見交換を行いました。



6 手話施策検討部会

前橋市手話施策推進方針に基づき、平成28年度実施計画を策定し、当事者団体である「前橋市聴覚障害者福祉協会」や「前橋市手話通訳者協会」「前橋手話サークル連絡会」などの関係団体と連携を図りながら、各種施策を実施しました。

また、3月11日には、市民の手話とろう者への理解促進を図ることを目的として、「手話言語条例制定記念フォーラム」を開催しました。NHK手話ニュースキャスターの中野佐世子さんの講演や県立聾学校の生徒によるダンス、関係団体による手話コーラスなどを通じ、約300人の参加者が手話の世界を満喫しました。



平成29年度前橋市自立支援協議会について

《組織図》

全体会 (年1～2回)

委託相談支援事業所やサービス事業所、医療・教育・就労などの関係機関が集まり、地域課題の共有や対策の協議を行います。

前橋市では、障害者総合支援法に基づき、平成19年より自立支援協議会を開催しています。自立支援協議会では、「障害のある人が、地域で普通に暮らせる街づくり」を目指して、相談支援事業所や障害者団体代表者、医療・保健関係者などが協議を行っています。

運営調整会議 (毎月1回)

自立支援協議会の会長、委託相談支援事業所、市障害福祉課により協議会全体の運営状況を確認し、方向性を検討します。

今年度は、協議会の全体的な運営を担う運営調整会議、相談事例の検討を行う定例会議を始め、6つの特定課題会議（専門部会）により前橋市における各分野の課題を整理して解決策を協議します。

また、広報誌の発行及び障害福祉啓発イベントも開催する予定です。

定例会議 (奇数月開催)

委託相談支援事業所や関係機関が集まり、相談事例の検討を行い、前橋市としての課題を分析します。

広報・啓発WG (毎月又は隔月開催)

本協議会の広報紙の発行を行います。また啓発イベント開催について取り組みます。



特定課題会議（専門部会）(毎月または隔月開催)

自立支援協議会の委員や障害福祉課により、前橋市における各分野の課題について整理し解決策を検討します。

就労支援部会

企業に対する障害者雇用のための情報提供や、障害者に向けて就労意欲が向上するための活動を行います。

地域移行・地域定着部会

施設や長期入院から、地域で暮らすために必要なシステムづくりについて検討します。

療育ネットワーク推進会議

(前橋市障害児等療育支援事業)

こども部会

障害児に関わる各機関が、情報共有し、チームとして支援できる体制強化に取り組みます。

短期入所部会

医療的ケアを必要とする人の利用及び緊急を要する場合の利用について検討します。

地域生活支援拠点整備部会

地域生活支援拠点の整備について検討します。

手話施策検討部会

前橋市手話施策推進方針に基づく平成29年度実施計画を推進します。

ワーキンググループ (随時開催)

部会で整理した課題について、具体的な解決策を専門的に検討します。

第5回みんなのフェスタを開催しました！



平成29年1月29日(日)に第5回みんなのフェスタを開催し、約300人が来場しました。

アート展では、6つの団体から26作品の応募があり、来場する方の目を楽しませていました。

今回初めて行ったスタンプラリーには多くの参加があり好評でした。

舞台発表では、5組のみなさんが出演してくださいました。ラストはゲストのチェリー☆マーメイドさんのリードにより全員で合唱をし、大いに盛り上りました。

パンチ（ユニバーサルデザインの紹介）

透明のプラスチックカバーで穴を開ける場所がよく見えるので、正確な穴開けを軽い力で行えます。文字に穴を開けてしまうなどの心配がありません。

また、センター合わせ用のゲージを使えば、A4長辺までの位置合わせが正確に出来ます。ゲージ収納についても折りたたみが出来、またダストカバーが半分だけ開くので、くずの散らかる心配がなくなる所も良い点です。



これなあ～に？



家などのドアで丸いノブ型のハンドルってありますよね？滑ったりすることや手の力が弱くなってきた高齢者、もともと力の弱い障害者や子供には開けにくくないでしょうか？

そんな時にこれを使うとノブ型のハンドルをレバー型ハンドルにすることができます。これで開けにくかったノブ型ハンドルのドアも開けやすくなります。困っている方は使ってみてはいかがでしょうか？

答えは・・・「ノブ型ハンドル補助レバー」

編集後記

新緑の眩しい季節となりました。4月から新たに生活スタイルが変わった方、新しい出会いがあった方もいらっしゃるかと思います。ゴールデンウィークが過ぎてやっと落ち着いてきたと実感している方もいらっしゃるかと思います。

この「みんなのらいふ」は前橋市自立支援協議会から選出された障害者団体や相談支援事業所の職員が広報・啓発のメンバーとなり作成しています。

今回は前橋市自立支援協議会の活動報告や平成

29年度における組織図や各部会の活動予定、1月に開催された「みんなのフェスタ」について紹介しました。

ユニバーサルデザインの紹介や「これなあ～に？」はお役に立ちましたか？

これからも「みんなのらいふ」を通して、障害のある方に対する理解や、障害のある方が安心して生活が出来るように、少しでもお役に立てる情報を発信していきたいと思います。